

漢方関係学会・研究会予定(10月)

これまで新型コロナウイルス感染症の影響下にありましたが、徐々に通常の開催に戻ってきました。この間習得したWeb開催のノウハウを活かしてハイブリッドでの開催が主流になっています。今回は、2024年10月に開催または中止の連絡を頂いた会のみ掲載しております。その他の会にしましては事前に各連絡先または事務局にて確認下さい。

●ANNE X漢方三考塾

日時 10月6日(日) 午前10時～午後4時30分

会場 東京 神楽坂三考塾研究室(東西線・神楽坂駅至近)

内容 『Active Learning』で学ぶ赤本『腹証図解漢方常用処方解説』・

青本『古今名方漢方処方学時習(高山宏世著)』(小池加能)・

『金匱要略』(菅沼榮)、『本草備要』(廣橋義和)

連絡先 東京都新宿区赤城元町2番4号(神楽坂漢方有恒薬局)

PM03・326・07618 Email: sankoyukku@gmail.com

●第39回日本耳鼻咽喉科漢方研究会学術集会

日時 10月12日(土) 午前9時半～午後5時15分

会場 東京コンファレンスセンター・品川(東京都港区港南1-9-36

アレア品川)ハイブリッド開催(現地+Web配信)

オンデマンド配信10月25日午後0時～11月7日午後0時

テーマ 漢方の可視化

会長 山下 拓(北里大学医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科)

内容

(教育講演)漢方医学の診察法と舌診について

北里大学医学部 総合診療医学 助教(診療講師) 五野由佳理

〔特別セミナー〕科学的根拠に基づく漢方薬処方のススメ…作用機

序の解明と「証」可視化の試み(半夏瀉心湯を例に)

東京慈恵会医科大学 疼痛制御研究講座 特任教授 上園 保仁

〔ハンズオンセミナー〕舌診

北里大学医学部 総合診療医学 助教(診療講師) 五野由佳理

北里大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 非常勤 細野 浩史

〔特別講演〕脳神経外科医の視点から見た、めまいと頭痛の漢方治療

八戸市立市民病院 化学療法センター所長/漢方内科学部長 川村 強

〔一般講演〕

01 顔面外傷による疼痛、しびれに漢方治療が有用であった症例

新谷 朋子

02 漢方薬服用後に消失した大きな喉頭ポリープの一例

真栄城徳秀

03 喉頭痙攣疑い例の対応

竹越 哲男

04 茯苓飲合半夏厚朴湯と滋陰至宝湯で改善した咽喉頭違和感の一例

田村 義博

05 舌診から見た漢方治療、半夏厚朴湯を中心として

真崎 雅和

06 頸部非特異的リンパ節炎に対する葛根湯の使用経験

松浦 貴文

07 頭頸部腫瘍化学放射線治療における口内炎に対する半夏瀉心湯の使用経験

太田 伸男

08 頭頸部腫瘍TTF症例の下痢に対する柴苓湯の治療効果

渡邊 昭仁

09 漢方薬が症状緩和の一助となった多発血管炎性肉芽腫症疑い例

真喜志康孝

10 高齢者の耳鳴に対し漢方薬が有効であった一例

勝見さち代

11 腎は耳に開竅する。耳科領域における八味地黄丸の使い方

境 修平

012 市中病院での慢性耳鳴患者への漢方薬とアデノシン三リン酸二

ナトリウム投与の比較検討

北野 公一

013 低音障害型感音難聴に対する漢方治療の有用性

田中 正浩

014 苓桂朮甘湯が無効であっためまい症例に関する考察

渡辺 英彦

015 めまい症と熱の関係性の検討

白井 明子

016 発作性めまいに対する漢方合方療法

五島 史行

〔優秀演題賞ノミネート講演〕

N1 マウス耳石器形態の加齢性変化に対して、漢方薬長期内服が与

える影響の比較検討

植田 景太

N2 片頭痛の頭痛軽減としての川芎茶調散の処方検討

新井 基洋

N3 耳痛に対する漢方治療の検討

呉 明美

N4 黄連によるSARS-CoV-2 envelope protein 刺激によるCalu-3

細胞のIL-6産生抑制機序解明

王 宝禮

N5 CPA療法中の鼻症状に対する漢方治療効果について

N6 抑肝散のエビデンス、及び奏功例について

有馬菜千枝
清水 謙祐

事務局 株式会社コングレ 九州支社内

☎092-718-3531 (対応時間：午前10時～午後5時半、

平日のみ) E-mail: jibika-kampo2024@congre.co.jp

●日本東方医学会第18回中医薬学研修講座―基礎の部

日時 10月12日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信

内容 研修科目：臟腑辨証(Ⅲ)、臟腑辨証(Ⅳ)(菅沼栄)

共催 (株)ツムラ

事務局 (一財)東方医療振興財団事務局 FAX03・6264・3016

E-mail: gakkai@iptoho.or.jp

●中医薬研究会関西支部10月月例研究会

日時 10月13日(日) 午前9時～午後2時

会場 Zoomによる例会

内容 常用処方解説・パニック障害に対する漢方、皇漢医学・半夏

厚朴湯、平成薬証論・半夏等(内容等変更の場合あり) 他

事務局 田中余以德斉薬局(三重県名張市榑町14011) 解説/田中英樹 他

☎0595・63・0238 FAX0595・63・0268

●第57回日本漢方交流会全国学術総会「名古屋大会」

・漢方薬・生薬認定薬剤師制度漢方必須研修対象講座(3単位)

日時 10月13日(日) 午前9時半～午後5時45分

会場 会場とWEB配信のハイブリッド開催。名古屋市立大学薬学部

田辺通キャンパス「宮田専治記念ホール」(名古屋市穂積区田

辺通3-1)

テーマ 「漢方を極める」

内容

〔特別講演Ⅰ〕生薬の効能についての標準化案の提示

名古屋市立大学大学院薬学研究所生薬学分野教授 牧野 利明

〔特別講演Ⅱ〕漢方の極意…すべては陰陽の展開 ―基礎理論から

臨床実践まで― 仙頭クリニック院長 仙頭正四郎

〔特別講演Ⅲ〕ハンゲのイガイガを追いかけて ―生姜汁でイガイ

ガはホントに治る? 松花堂マツヤ薬局 笹木 司

〔会員発表〕3題、〔薬用植物園ガイドツアー〕、〔展示〕

主催 一般社団法人日本漢方交流会

共催 一般社団法人日本生薬学会

後援 一般社団愛知県薬剤師会

主管 東海漢方協議会

事務局 皇漢堂林薬局 林誠一 ☎0586・72・4798 FAX05

86・23・8010 E-mail: nknagoya57@gmail.com

●第30回東京漢方教育研究センター10月講座

・研修認定薬剤師制度認定対象集合研修会

・漢方薬・生薬認定薬剤師研修対象講座(3単位)

日時 10月13日(日) 午前10時半～午後4時55分

会場受講(先着30名まで)と、Zoomによるオンライン受講(人数制限なし)のハイブリッド形式で実施。ホームページのGoogle

フォームよりお申込み下さい。(申込みなしの当日参加不可)

会場 早稲田大学国際会議場第1会議室(新宿区西早稲田1-20-14)

内容 漢方の初歩・江戸前期(鈴木達彦)、生薬解説・大棗・小麦(飛奈良治)、処方解説・甘麦大棗湯(飛奈良治)、康治本傷寒論解説・

傷寒論91(中川智代)、特別講義・精神疾患と漢方(山田和男)

連絡先 二宮理摩 ☎090・4392・7129

E-mail: tokyokanpou@yahoo.co.jp

●藤門会

日時 10月19日(土) 午後2時～午後6時

会場 全水道会館5階(東京都文京区本郷1-4-1)

会場とZoomによるハイブリッド開催

内容 症例・研究報告(内藤雪)、学会報告(発表者)、嘉子の部屋

(高木嘉子)、古訓医伝(福安悠介)

連絡先 ジェービーエス製薬(株)内 藤門会事務局 ☎045・593・

2061 E-mail: shonistagau@tomonkai.com

●温知会月例会10月講義(第64回)

日時 10月19日(土) 午後6時～8時

会場 湯島聖堂・斯文会館(文京区湯島1-4、お茶の水駅至近)

内容 生薬解説・瀉下薬 芦薈・牽牛子・番瀉葉(神谷洋)、『翻刻

宋版傷寒論』不可不篇・270～276条(班目有加)、症例検討・演

題未定(屋良美紀・一木昭人)、自由演題・演題未定(永井良樹)

問合せ ホームページの「お問い合わせフォーム」にて連絡

●第69回日本臨床漢方医学会漢方家庭医講習会

日時 10月19日(土) 午後6時～8時

会場 Zoom受講、参加予約: <https://kampo-ikai.jp/contents/20241019/>

内容 初学者向け 漢方の治療の選択肢の広げ方(山内雅史) + 対談

講演内容 漢方の処方を選択する上での思考のプロセス

対談 総合診療における漢方の有用性

共催 日野市医師会、多摩市医師会、クラシエ薬品(株)

問合せ クラシエ薬品(株) 富田 ☎080・5938・6267

●第62回広島漢方研究会月例会

日時 10月20日(日) 午前9時半～午後0時半

会場 広島県薬剤師会館2F・ふたばホール(広島市東区二葉の里)

内容 『漢方薬局での店頭経験』最近の症例を紹介しながら皆さん

と一緒に考えます。(鉄村努)、『気虚の基礎と実践』(中島正光)

主催 広島漢方交流会

共催 一般社団法人日本生薬学会

連絡先 鉄村 ☎082・2332・7756 E-mail: info@tetsunura.jp

●京都漢方研究会第34期10月講座

日時 10月20日(日) 午前10時～午後4時

会場 会場受講とZoomによるハイブリッド開催

内容 講座会場・京都薬科大学愛学館「愛学ホール」(京都市山科区)

第1講・セルフメデイケーション領域の漢方―動悸―(高橋

宏和)、第2講・知っておきたい漢方配合生薬(その4)(松田久

司)、第3講・消化器領域の漢方治療(仮)(坂田雅浩)

事務局 松田久司 ☎080・6866・6932、090・9624・

1669 FAX 075・762・5612(細野医院内 松田宛)

E-mail : matsuda_134@outlook.jp

●日本漢方協会漢方総合講座(第34回) 10月講座

日時 10月20日(日) 午前10時～午後4時10分
会場 全水道会館(文京区本郷1-4-1)

内容 基礎理論論：養生(千葉和美)、傷寒論 入門：少陽病(渡辺方乃)、最前線の漢方臨床：柴胡剤の臨床応用(頼建守)、漢方トピックス：漢方湯液治療の特性(針ヶ谷哲也)

事務局 一般社団法人日本漢方協会(墨田区両国2-17-19 PAZ両国6階) ☎/ℒ03・6659・9980 平日(月～木) 午前10時～午後4時迄 E-mail : jkampo@jeansoon.ne.jp

●第70回日本臨床漢方医学会 漢方家庭医講習会

日時 10月26日(土) 午後4時～6時

会場 Zoom受講+会場(福井市田原1-13-6 フェニックスプラザ402号室)、参加予約：<https://kampo-ikai.jp/contents/20241026/>
内容 漢方医学との出会いから診療・教育・研究への取り組みと世界への発信(元雄良治)

連絡先 (株)ツムラ福井営業所 ☎0776・26・9660

●日本東方医学会 次のステップをめざす中医学研修講座

日時 10月26日(土) 午後6時～8時

会場 WEBによるライブ配信

内容 気象病など 治療方法が記載されていない疾患(中田薫)、後半30分対談(中田薫先生×長瀬眞彦先生)

共催 クラシエ薬品(株)

事務局 (二財)東方医療振興財団事務局 ℒ03・6264・3016

E-mail : gakkai@jptoho.or.jp

●九州漢方研究会令和6年10月例会

日時 10月27日(日) 午後1時～午後4時

会場 WEB配信と会場での開催(会場は事務局に確認)

内容 健やかに過ごす為の食養生と漢方(米永基子)、漢方処方を構成する薬味解説(川寄哲)、中医学解説、傷寒雑病論(甄立学)

事務局 斉藤容子(招き猫調剤薬局) 福岡市中央区舞鶴1-8-11
☎070・8372・6637 ℒ092・406・4062

E-mail : kyusyukampo@gmail.com

●柿田塾10月度定例会

「柿田塾定例会の再開は今のところ未定となっております。

詳しくは柿田塾ホームページを参照下さい」

おのころ治療院内柿田塾：兵庫県淡路市志筑1-138-6

☎0799・62・0990

(以上 敬称略)

注意：各会の参加要件・参加費用等は個々に異なりますので
必ず事前にご確認下さい。